

# 研究協力をお願い

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

フェムトセカンドレーザー白内障手術による角膜切開創の評価

## 1. 研究の対象および研究対象期間

### 研究対象

2020年3月1日から2021年8月31日までに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院にて白内障でフェムトセカンドレーザーまたは通常のナイフにより切開創を作成し、水晶体乳化吸引術およびプリセットインジェクターによる眼内レンズ挿入術を行った患者さん。

### 研究対象期間

2020年3月1日～2021年8月31日

## 2. 研究目的・方法

### 研究目的

白内障手術における切開創は、従来、ナイフにより作成します。近年、これまで術者が行っていた手術工程の一部を、フェムトセカンドレーザーを用いて行うことが可能となっています。

フェムトセカンドレーザーによる角膜切開と、従来のナイフによる切開創と比較し、正確性や安全性について比較検討します。

### 研究方法

2020年3月1日から2021年8月31日までに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院にて白内障でフェムトセカンドレーザーまたは通常のナイフにより切開創を作成し、水晶体乳化吸引術およびプリセットインジェクターによる眼内レンズ挿入術を行った患者さんを対象に、術前後最高矯正視力、核硬度、CDE値、切開創拡大幅(mm)、角膜内皮細胞数減少率(%)、術終了時創口ハイドレーション率を調査項目として比較検討します。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、実施医療機関の長の研究実施許可を得てから2023年3月31日まで

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

評価項目：術前後最高矯正視力、核硬度、CDE値、切開創拡大幅(mm)、角膜内皮細胞数減少率(%)、

術終了時創口ハイドレーション率、デスマ膜剥離・裂隙・隆起の有無

#### 4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

氏名：吉田 健也

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1

電話番号：045-974-2221

研究責任者

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

氏名：吉田 健也